

3月。イラク戦争が始まって5年が経過しました。当時開戦の理由にあげていた大量破壊兵器の存在が米国政府自身の調査で否定されたにも関わらず、5年の長きにわたり占拠し続け、十万人ともいわれるイラク市民と四千人近い米兵が死亡しました。イラク戦争はいまだ終結を迎えず—。

チベット自治区ラサで起きた暴動で死者は100人以上とされています。日本では殺人・幼児虐待のニュースが後を絶ちません。

土井隆雄さんが宇宙ステーションから見る地球は今でも青く輝いて見えるのでしょうか。紛争も飢えも貧困も憎しみも哀しみも、その青い美しさに翳りを落とすことはないのでしょうか？

札幌はあんなにあった雪もすっかり解け、大地が大きく深呼吸し草木が一斉に芽吹く日を今か今かと待ち構えているようです。春はもうそこまで—。



〜今月のヒット川柳〜
電子化に 翻弄される 五〇歳——

中央病院はただいま、電子カルテ化へ向けて大奮闘中であり
 ます。『電カル』と聞いて、「電解質？カルシウム？」って頭に
 思い浮かんだ人、少なくともいでしょう？

教育講演会～睡眠時無呼吸症候群～に参加して

勤医協西区病院 覚張 亜沙美

2月の半ば、猛吹雪の中菊水ビルにて今年の教育講演会が開催されました。今年は永沼先生が講師で、テーマは『睡眠時無呼吸症候群』についてでした。西区病院では最近パルスウォッチの検査が導入されたばかりなので、凄く楽しみでした。

講演会中は衝撃の連続でした。『きっと無呼吸の人って交通事故起こしやすいのだろうなあと思っていたのですが健常人と比べて7倍多いとか(ただしアメリカですが)、重症の人は人と話している途中でも眠ってしまうなんてあまり想像つかないなあとか、新たに再発見でした。そのほかにも診断基準の定義(なんとなくとしか覚えていなかったののでしっかり覚えられました。)やメタボリックシンドロームとの関係なども聞くことができてなるほどなあと思っているうちに終了してしまいました。

講演会が終わったあとは、気がつけばスッキリと晴れていた天気と同じように、睡眠時無呼吸症候群についてもわからなかったところが解決してとてもスッキリ充実した一日になりました。検査にかかわってる技師として、もうちょっと頑張ってる病気に ついても勉強しようと思いました。





《学会・講習会の申請はお早めに！》

3月末で年度が変わるので、2007年度に行なわれた講習会等の参加に関しては3月中に申請下さいませ。3月いっぱい締め切りとし、4月に入ってからでは受付致しかねますのでご了承下さい。

机や財布の中で眠っている領収書はありませんか？3000円以上はレポート付でご提出願います。

～・～ 病院から診療所へ ～・～

北区ぽぷらクリニック 森 亘

2007年3月まで勤医協札幌北区病院は二つの病棟（2階急性期病棟、3階療養病棟）と、付属ぽぷらクリニック（内科と小児科）を併設し、職員数約130名の中規模病院でした。しかし、2008年4月には職員数約20名の診療所（勤医協札幌北区ぽぷらクリニック）になります。

北区における勤医協の歴史は、1982年12月に新琴似診療所が開設され、1984年7月に勤医協札幌北区病院に新築移転しています。検査技師はこの時から配置され初代検査技師は、現十勝勤医協帯広病院の曾屋技師長でした。その後北区検査室は拡大されていき、2006年4月には検査技師7名体制となりました。

2007年5月の第77回通常総会において、北海道勤医協の経営再建と医師不足から北区病院は、高齢者外来・在宅・健診を重視したクリニック（在宅療養支援診療所）へ転換し、転換後は、長期療養患者を受け入れる施設として位置づけることが決定されました。

2007年4月一般病棟廃止、9月療養病棟廃止、名称変更「勤医協札幌北区診療所」、10月ショートステイ開設、12月名称変更「勤医協札幌北区ぽぷらクリニック」、2008年4月有料老人ホーム開設、旧病院協在宅の管理へ、と激変の一年となりました。この病院全体の送別会も3回行いとても寂しい思いで

1月19日に行なわれた友の会新春のつどいで、皆さんが「北区病院が小さくなっていきとても悔しい思いです。」と挨拶されていました。地域の社員・友の会のみなさんの力で築き上げてきた民医連の砦が縮小させなければ維持できない状況をしっかりと受け止めて、反転攻勢に出ることを決意してこの時期を頑張り抜きたいと思っています。



~技師川柳~

サラリーマンだけが辛いんじゃないっ！
技師だって川柳を詠んで
日常の悲喜交々を表現したいんだっっ！！

今月の技師川柳は電子カルテ化で疲れきっている中病検査室様よりご投稿頂きました。
機械に弄ばれ振り回され、どんなツライ目に合わされようとも、時代の流れに身をまかせ、それが
運命（さだめ）と全てを受け入れる。忍の一文字を胸に、頑張るのよアタシ・・・ なーん、で眩
なこと誰も言いません。いつだって臨戦態勢ですっ！？

アナタも川柳を詠んで自分を解放してみませんか？
ふらすこ編集スタッフ一同心よりお待ち申し上げます。



☆ ピペットを 持つ手マウスに 置き換わり

(まさしく時代の移り変わりでありますね。今や、ピペット分チューに
していた手は、マウス操作に夢チューとなって、電カル開始で五里霧子
子年にちなんでネズミオンパレードです。ああ、チューしてみたいっす

☆ 何時からか ピペット消えた 検査室

☆ 採りにくい 腕は左へ 受け流す

(by ムーディー勝山・・・受け流したいですね、なんな事もこんな事も。右から左へ全て。)

☆ エラゆうこ の イーイーダンス 「イーイー」と 褒めあうダンス あっ、レッツら ゴー♪



あらアナタ~ 笑顔がイ~
性格イ~
センスがイ~
ビューティー セクシー フレンドリー
イーイーイーイーイー
プオーっ

中西技師・作

エドはるみのグーグーダンスならぬ、
イーイーダンスです！
互いに褒めて褒めて褒めちぎりましょう！！
「褒め合い 触れ合い ワキアイアイー
パソコン見すぎてドライアイー♪」

「ちょっと古いハナシですがー…。」 in うつのみや

中央病院第1検査 板垣 史代

2005年からスタートした、神経生理の認定技師資格。「超音波の次は神経生理の認定よお〜っ」と、ただいま準備中。まずは基礎固めと最新の情報を仕入れるべく、2007年11月19日から23日まで、宇都宮市で開催された日本神経生理学会講習会と、学術大会に参加してきました。

講習会はなんといっても講師陣が豪華。日本の神経生理の第一人者、伝説の(?)木村淳先生はじめ、一度は手にした参考文献の著者が次々に壇上に上がり、直接講義が聴けるんですから。もったいなくて寝てなんかいません。分厚いテキストとスライドを見比べて、とにかくメモメモメモ!(うわあ〜後から読んでわかるかなあ。)朝9時から夕方6時近くまで、昼休みの90分を除いて途中休憩なし。2日間カンヅメ状態で受講しました。

実技をふくめ、様々な講習を受けるうち、今までなんとなく経験で流してきた検査が、こんなに情報量があったのか、こんなところに臨床は注目してたのか、と改めて認識しました。筋電図では、特に神経内科のsingle fiber EMGに目からうろこ。神経内科の某先生、長時間筋電図室を占拠される理由がわかりました。もうしつこく覗きにいきませんから、存分に20筋 弱収縮の針筋電図してください。脳波分野はデジタル時代。波形を加工してフォーカスを探すのは当たり前。マッピングで専門外のDrにもわかる結果返しが求められています。うちも早くデジタル化したいなー。

学術大会は思ったよりもアットホーム。他の学会より発表者、質問者の距離が近い感じ。全国学会というより地方会のノリで、最先端の難しい話題もたのしく聴けました。ポスターセッションも数多く、興味のあるところをすべてまわると外は真っ暗。日程はかなりハードでした。

そして!宇都宮といえばギョーザ!!5日間の滞在中、ホテルの朝食以外、昼食夕食でギョーザにしなかったのは1食だけ。ずーっとギョーザを食べてました。宇都宮は専門店も多く、「来らっせ」というギョーザテーマパーク(札幌のラーメン共和国のような)もあって、毎食違う店の味が楽しめるのです。食材も調味料も地元産を使うのが基本なので、今回の中国ギョーザ事件のようなことは

関係なし。しかも1人前6-7個、200-300円程度なのでお財布にもやさしい。ハシゴだってできちゃいます。

独自のたれを用意している店もありましたが、基本は酢醤油にラー油でした。宇都宮、今回はじめて行きましたが、すっかりはまりました。ギョーザを目的にまた行ってもいいくらいです。



(ご希望の方、お勧めのお店、お教えしますよ♪♪♪)